



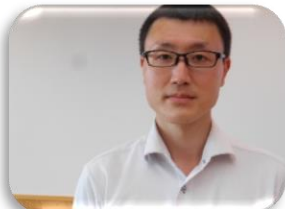
G I G Aスクールは水泳の授業と一緒に 入ってみなければわからない



講師の山主公彦先生

8月1日(月)、夏休みの暑い中、船津小を会場にして情報教育研修会を開催しました。各校から多くの先生方が参加し、一人一台端末を中心としたICTの効果的活用について学習しました。

今回の講師は山主公彦先生。若い頃に湖南中学校にもご勤務され、富士河口湖町の教育の発展にご尽力された方です。現在は甲府市教育委員会で指導主事としてご活躍されています。グーグルのアドバイザーの資格をお持ちで、甲府市小中学校のG I G Aスクール構想を中心になって推し進めています。研修では、甲府市の実際の取り組みの様子や公務や授業で活用できる無料ソフトについて紹介してくださいました。



甲府市教育委員会の鈴木昇先生と山主公彦様

「G I G Aスクールは水泳の授業と一緒に。入ってみなければわからない。陸から眺めていてもできるようなには

ならない。実際に入って泳いでみるのが大事。G I G Aスクールもできないからといって手をこまねいていてもできるようなにはならない。新学習指導要領でも情報活用能力の育成が協調されているが、このままでは2050年にはデジタル後進国になってしまう。できる・できないではなく、子どもたちの資質・能力を向上させるためにもできるところから始めていかなければならない。」と参加者に訴えていました。

今回の研修会では、甲府市のすばらしい取り組みを知ると同時に、富士河口湖町の課題も見えてきました。課題解決に向けて更なる取り組みが求められていることを改めて実感する時間となりました。



真剣にタブレットに向かう先生方

運動会・学園祭の予定

9月10日(土) 11日(日) 湖北中学校、 9月12日(月) 13日(火) 勝山中学校
9月14日(水) 15日(木) 湖南中学校

9月10日(土) 船津小学校、大嵐小学校
9月17日(土) 小立小学校、大石小学校、河口小学校
勝山小学校、西浜小学校、富士豊茂小学校



安全・安心でおいしい給食 一人で100食も

たった4人で400食近くの給食を作っている調理員さん。これは、町内のひとつの学校の例ですが、単純に計算すると平均一人当たり100食近くを作っていることになります。多くの学校がこれに近い現状があります。それも限られた時間の中で作り上げなければならないという非常に大変な仕事です。安全・安心でおいしい給食は、目に見えない日々の努力によって提供されています。

8月2日(火)、給食調理従事者研修会(映像配信での視聴)が行われました。学校給食における衛生管理の重要性について改めて学ぶ機会となりました。後半の部では「ドライにする工夫」「食材の分け方」「異物のチェック方法」「課題の改善方法」の4点に絞って情報交換を行い、お互いの課題点を克服していくために今後も努力していくことが確認されました。

給食には、常に細心の注意を払ってチェックにチェックを重ねて衛生管理を行い、安全・安心でおいしい給食を提供して下さっている栄養職員さんと調理員さんの日々の見えない努力が込められています。給食を頂くみなさんは、「給食を頂くのは当たり前」で

はなく、こうした努力に感謝し、残さず食べてほしいと思います。



映像配信での視聴



話し合いの様子

富士河口湖町 子ども未来会議

町内の中高生(代表)を対象に行われた「富士河口湖町第2次総合計画後期基本計画策定のための子ども未来会議」。カフェでリラックスして話すかのようにアイデアを出し合うことができるというワールドカフェ方式を取り入れた話し合いが行われました。流れは「5つの基本方針に合わせて5グループに分かれる。1ラウンドを15分とし4ラウンド話し合いを行なう。ラウンドが終わるごとに、メンバーチェンジを行い、異なるメンバーで意見を出し合う。4ラウンドがすべて終わったら、最初についていたテーブルに戻り、意見をまとめる。」というものです。

子どもたちの目線に立って社会(本町)を見てみると、大人が気付かない社会(本町)の抱える様々な課題を解決するヒントがあります。まとめの発表では「年齢に関係なくみんなに優しい町づくり」「雇用を充実させる工夫」など、町の将来を見据えた意見がたくさん出されました。

「さあ、子どもたちの視点は基本計画に反映されるのか? すご期待です。」

「なんでこんなことになったんだ」

富士河口湖町でSSW(スクールソーシャルワーカー)をしている古屋まりと申します。突然ですが、最近、表題の言葉を聞いた記憶がある方はいますか? 実はこの言葉、大流行中の漫画『鬼滅の刃』の第1巻・第1話・1ページ目で、主人公竈門炭治郎が最初に口にするセリフです。物語はここからスタートし、仲間と協力しながら鬼と闘い、みんなが笑顔で過ごすことができる平和な日々を目指していきます。

夏休み明けは、様々な理由から「学校へ行きたくない」と追いつめられる子どもが増えます。これまで登校していたのに、なんでこんなことになったんだ。人生は時に想定していないことが起こるものです。子どものことで困った時、家庭だけで悩まず学校に相談をしてみてください。専門職の私たちが力になれる部分がある時には是非チームに加えてください。鬼退治のプロがいるように子ども支援のプロがいます。子どもたちの笑顔のため、応援者の一人としてお手伝いができたら幸いです。